別添①

# 令和7年度（令和6年度実施事業）第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価　戦略会議の意見と市の考え方

**基本目標1。雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり**
**推進施策（1）産業基盤強化の促進**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIの達成状況は順調で、国の計画通りに事業は展開されており、評価できる。国際物流ターミナルの整備は、産業基盤強化の促進に向けて重要な取組みであり、引き続き、中長期的な視点を持って、周辺自治体、企業、県、国との連携深化を進めていただき、より高いレベルに近づく取組を継続されたい。 | － | 河川港湾課 |
| 2 | 国際物流ターミナルの今後の利用についてどのくらい増加（減少）するのか予測をされているか。 | 国際物流ターミナル整備事業の完成により、R11年の徳山下松港・宇部港における輸入石炭量は1,470万トンを見込んでおり、今後300万トン以上の増加を予測しております。 | 河川港湾課 |
| 3 | 国の政策動向、予算措置の影響が大きい分野と認識している。カーボンニュートラルポートについても、立地企業の技術開発、投資判断の影響が大きいが、市として可能な支援を行う必要がある。 | 徳山下松港が多角的エネルギー供給拠点港として進化することは、周南市のみならず、我が国の経済発展にも寄与するため、引き続き、国、県、関連企業と連携し、カーボンニュートラルポートの形成に向けた取り組みを進めてまいります。 | 河川港湾課 |
| 意見 | KPIの達成状況は順調で、国の計画通りに事業は展開されており、評価できる。国際物流ターミナルの整備は、産業基盤強化の促進に向けて重要な取組みであり、引き続き、中長期的な視点を持って、周辺自治体、企業、県、国との連携深化を進めていただき、より高いレベルに近づく取組を継続されたい。また、カーボンニュートラルポートについても、立地企業の技術開発、投資判断の影響が大きいが、市として最大限可能な支援を行っていただきたい。 | | |

**推進施策（2）企業立地の促進**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPI目標のうち、「本社機能移転等の認定件数」は目標に達成していないものの、他の2項目も含めて概ね達成されており、評価できる。記載のとおり、企業ヒアリング等を通じた具体的な動向やニーズを確認していただき、引き続き企業立地促進の取組を進めていただきたい。 | － | 商工振興課 |
| 2 | 補助制度の指定数は上回っているが、認定件数は目標に達していない。それにもかかわらず、新規雇用者数は目標を上回っている。今後はKPI目標の整合性等まで踏み込んだ目標設定をお願いしたい。市外流出する若者を減らし、地域に呼び込むレベルを目指すべき。 | それぞれの実績の傾向に違いが生じた理由は、各補助制度により補助対象・補助要件等が異なることによるものと考えます。より分かりやすい目標設定に努めてまいります。 | 商工振興課 |
| 3 | 本社機能移転件数が予測を下回っているが、どのような要因と考えているか。 | 様々な要因があると推察しますが、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたことで、再び首都圏等へ企業や人口の集積が進み、依然として東京一極集中が是正されていないことは要因の一つと考えます。 | 商工振興課 |
| 4 | KPIはおおむね達成されていると評価できる。今後は、企業立地について量的側面と同時に質的側面も着目する必要があると考えられる。例えば新規雇用者が勤務を継続しているかなど。 | 新規雇用に関する支援は、継続勤務の状況を捕捉しています。継続勤務のほか質的側面の把握につながるような項目について、研究してまいります。 | 商工振興課 |
| 意見 | KPI目標のうち、「本社機能移転等の認定件数」は目標に達成していないものの、他の2項目も含めて概ね達成されており、評価できる。引き続き企業立地促進の取組を進めていただきたい。<br>また、補助制度の指定数は上回っているが、認定件数は目標に達していないにもかかわらず、新規雇用者数は目標を上回っている。今後はKPI目標の整合性等まで踏み込んだ目標設定をお願いしたい。 | | |

**推進施策（3）新事業・新産業・新エネルギーの創出**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIの達成状況は順調である。「新事業・新産業の創出」及び「創業支援の推進」は、地域経済の活性化に寄与するものであることから、関係機関（支援機関、金融機関等）との連携も踏まえて、引き続き取組みを推進していただきたい。 | － | 商工振興課 |
| 2 | KPIは重点立地促進事業の指定件数、創業支援を受けて創業した件数ともに、目標を大幅に上回っている。それが安定して働くことのできるまちづくりにどれだけ寄与しているのか、それでも人を呼び込めないのはなぜか、より整合性のある取組を検討されたい。 | 個々の事業の成果が、安定して働くことのできるまちづくりの推進につながるよう、企業や商工会議所、教育機関等と連携を図りながら、より整合性のある取組を検討してまいります。 | 商工振興課 |
| 3 | 事業所の業界・分野の動向を把握するとあるが、具体的にどのような分野か。<br>また、分野の傾向把握から今後の展開はどうか。 | 水素関連事業など6事業を重点立地促進事業とし動向を注視しています。<br>また、今後は、カーボンニュートラルや医療、ヘルスケア等への設備投資の加速が考えられます。 | 商工振興課 |
| 4 | 新エネルギーの利活用について、必要量のどのくらい新エネルギーに転換が進んでいるか。 | 現在、コンビナート企業では、石炭の一部を木質バイオマスに燃料転換しており、今後もバイオマスの利用拡大及び2030年に向けたアンモニアの導入など、新エネルギーの利活用が進むと考えます。 | 商工振興課 |
| 5 | KPIはおおむね達成されていると評価できる。今後は、推進施策（2）と同様に量的側面と同時に質的側面も着目する必要があると考えられる。例えば創業後に事業継続状況など。 | 市創業支援等協議会を構成する各支援事業者が実施する新規創業者への伴走的な支援等を通じ、引き続き事業継続の状況把握に努めるとともに、質的側面の把握について研究してまいります。 | 商工振興課 |
| 意見 | KPIの達成状況は順調である。「新事業・新産業の創出」及び「創業支援の推進」は、地域経済の活性化に寄与するものであることから、関係機関（支援機関、金融機関等）との連携しつつ、事業の継続状況の把握と質の向上も踏まえて、引き続き取組みを推進していただきたい。 | | |

推進施策（4）稼げる農林水産業の構築

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | 「新規漁業就業者数」については達成されておらず、漁協のほか、市外の関係機関との連携を深めることも検討してみてはどうか。市外の機関と連携しているのであれば、そのように進めていただきたい。 | 現在、市外関係機関として、山口県と連携していますが、その他の機関とは連携がない状況です。ただ、市内の周南公立大学に対して、就職担当への求人依頼や新規漁業就業者によるインターン学生へのプレゼン実施による就業へのきっかけづくりに努めています。<br>市外連携機関については、他自治体の取り組みを情報取集するなど、研究してまいります。 | 水産振興課 |
| 2 | 他県他市で新規漁業就業者が増加傾向にある自治体はあるか。あるならば、その自治体の施策と本市との違いなどはあるか。 | 他自治体の就業動向の詳細は把握していませんが、雇用型の新規漁業就業者を含めた全国の状況では、令和元年度が1,729人で、以降1,700人前後で推移し、令和5年度が1,733人でした。また、山口県では、募集から研修を経て就業・定着までを一貫した「日本一の担い手支援策」を展開しており、本市も県と共同で事業を実施しております。これに加え市独自の補助である、研修期間中の家賃補助も実施しており、こうした施策のPRにも努めてまいります。 | 水産振興課 |
| 3 | 従事者の高齢化や後継者不足について、後継者の発掘に向けて、生成AI等先端技術を使った人手不足解消等の支援策は考えられているか。 | イチゴ・トマト等の本市推奨作物を中心にロボット技術やAI、ICTを活用したスマート農業機器の導入を支援するとともに、農業者ニーズを踏まえながら先進技術の調査・研究を行うなど、スマート農業の普及を促進してまいります。<br>なお水産分野においては現在、生成AI等先端技術を使った、人手不足解消等の支援策は行っておりませんが、必要に応じて導入を検討します。 | 農業振興課<br>水産振興課 |
| 4 | 6次産業化チャレンジ支援事業対象件数は目標を達成しており、今後は、「しゅうなんブランド」のPRに力を入れていただきたい。その際、「下関＝ふぐ」、「萩＝夏みかん」というような周南市をイメージできる商品があれば、訴求力が増すと思う。 | しゅうなんブランド制度は、開始後10年を迎え、認知度不足等の課題を解決するため、リニューアルを行いました。令和7年度から、新たな制度により、地域産品の付加価値や消費の拡大に向けて、取り組みを強化してまいります。 | 農業振興課 |
| 5 | 6次産業支援事業対象件数は目標を上回るが、目標達成により得られる効果の検証が必要。これは今後の目標設定におけるレベル感の指標となる。新規漁業就業者数については、目標到達時のゴールイメージの作成と共有が必要。 | 6次産業化等を支援する市独自の補助制度を令和7年度に創設しており、今後、この制度により開発した商品や販路拡大の取り組みについては、販売実績などを継続的に把握し、効果の検証を行ってまいります。<br>また、新規漁業就業者数については、漁業者数の減少・高齢化が進む中、目標値である毎年1人が新規就業した場合も、漁業者数の減少に歯止めをかけることは難しいと考えていますが、若い漁業者が就業することで漁業のみならず地域の活性化にも好影響を及ぼしている事例もありますので、そうしたイメージを関係者と共有しながら目標達成に取り組んでまいります。 | 農業振興課<br>水産振興課 |
| 6 | KPI未達成の新規漁業就業者数については、課題解決は容易ではないと考えられる。漁業全体の今後の在り方の議論の中で、どの程度就業者が不足しているのか、という試算も必要と考える。 | 海水温上昇等の環境変化や、魚介類消費量の減少等、今後の漁業を取り巻く状況は厳しいことが想定されますが、本市の水産業を持続させていくうえで、あるべき漁業者数の試算についても研究してまいります。 | 水産振興課 |
| 意見 | 「新規漁業就業者数」については達成されていないため、市内外の関係機関と連携し、具体的な取り組みを進められたい。<br>また、 6次産業化チャレンジ支援事業対象件数は目標を達成しているため、今後は「しゅうなんブランド」のPRに力を入れていただきたい。その際、周南市をイメージできる商品を作り出せれば、訴求力が増す。目標達成により得られる効果の検証とともに、目標到達時のゴールイメージの作成と共有を行う必要があると考える。 | | |

**推進施策（5）雇用の充実**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIは達成できていないものの、様々な施策を実施しており、一定の評価はできる。雇用の充実に向けて、若者の地元定着が重要な取組みの1つであると考えられ、令和7年度から支援内容を拡充した「奨学金返還支援制度」の周知に努めていただきたい。 | 市広報へのチラシ折込やSNSでの発信、県内大学等へのチラシ送付など、様々な手段を活用して若者及び市内中小企業等に対する制度周知に努め、地域人材の確保につなげてまいります。 | 公立大学連携課 |
| 2 | 本市における奨学金返還支援制度を実際に受けている学生の属性や傾向は。 | 現時点では補助金申請者数が少ない状況での傾向ですが、県内の大学等を卒業した方が申請しています。 | 公立大学連携課 |
| 3 | 大学生に向けた支援として奨学金返還支援事業をされているが、高校生やUJIターン者に向けた支援は考えられているか。 | 高校生に対しては、地元就職を支援・促進するため、令和7年度から、徳山商工会議所やハローワークと連携して、地元企業の仕事を知ってもらうイベントを開催予定です。<br>移住希望者に対しては、「周南シゴト動画」や「やまぐち移住就業マッチングサイト」等を活用した求人情報の発信や、移住に伴う経済的負担の軽減を図る「周南市東京圏等在住者移住支援金」などにより、就業支援に取り組んでいます。 | 商工振興課 |
| 4 | 有効求人倍率は1倍を上回って推移している。しかし、雇用形態別にみるとパートについては厳しい状況にあり、令和7年5月のパート有効求人倍率は0．91倍以上となっている。ハローワークもパート求人の量的確保に尽力しているが、市と連携した取組ができれば良いと考えている。 | ハローワーク徳山によると、パートタイムの求人倍率は1倍を下回る一方、職業別では1倍を大きく上回るものもあり、求人と求職のアンバランスが生じている状況です。この解消を図るため、本市では、求人情報を動画で分かりやすく紹介する「周南シゴト動画」の活用を、ハローワーク徳山と連携し推進しています。<br>また、本市では、令和5年度に山口労働局と締結した「周南市雇用対策協定」に基づき、ハローワーク徳山と連携して、求職者向けセミナーの開催や合同の企業訪問による助言等に取り組んでいます。引き続き、山口労働局及びハローワーク徳山と連携し、就労支援を推進します。 | 商工振興課 |
| 5 | KPI目標が雇用の充実にどれだけ寄与できるのか、適切な目標値はいくらかを検討すべき。難しい設定ではあるが、「この施策で最低何人は確保する」といった必達目標の設定も必要。常に目標達成を目指す組織であるべき。これらの取り組みだけでは人口減少を完全に止められないが、現状に抗うこと自体が最重要かつ不可避である。 | いただいたご意見を今後の目標設定の参考とさせていただくとともに、引き続き、関係機関と連携し、雇用の充実に取り組んでまいります。 | 商工振興課 |
| 6 | 各委員からの指摘にあるような多角的な視点で、今後の施策展開を工夫されたい。 | － | 商工振興課 |
| 意見 | 雇用の充実に向けて、若者の地元定着が重要な取組みの1つであると考える。令和7年度から支援内容を拡充した「奨学金返還支援制度」の周知に努めていただきたい。 また、大学生へ向けた支援だけでなく、高校生やUJIターン者に向けた競争力のある支援も検討されたい。なお、雇用形態別にみるとパートについては厳しい状況にあるため、関係機関と連携してより効果的な取組を展開されたい。<br>雇用の充実に寄与できるよう、適切な目標値を検討するとともに、多角的な視点でスピード感を持って今後の施策展開を工夫されたい。 | | |

**基本目標2。子育てに寄り添い、次代を担う人材を育むまちづくり**
**推進施策（1）結婚、妊娠・出産・子育てに関する支援の促進**

<table>
<tr><th>No.</th><th>戦略会議の意見</th><th>意見に対する市の考え等</th><th>担当課</th></tr>
<tr><td>1</td><td>KPI目標は達成できており、評価できる。結婚・妊娠・出産・子育てに関する支援は促進されていると見受けられるが、まずは結婚する方（若者等）を増やす必要があると考えられ、民間企業等と連携した「婚活イベント」の企画やイベントへの支援も検討してはどうか。</td><td>平成27年度から「周南市婚活イベント開催事業補助金」による民間事業者等へ活動補助を行ってまいりましたが、広域的かつ総合的に結婚支援を実施している、「やまぐち結婚応縁センター」があり、また、アプリや各地で開催されている民間企業等のイベントを活用する人も増えており、結婚を望む人の出会い・交流の機会の創出という点では、環境が整っていると考えております。このため、令和6年度末で補助事業を終了し、引き続き、「やまぐち結婚応縁センター」の周知や県が広域で開催する大規模婚活イベント等との連携を図ってまいります。<br>また、国の調査では、若い世代は、結婚やこどもを持つことが当たり前ではなく、自分の幸せを実現する一つの選択肢と捉えているとの結果が示されており、価値観の多様化が進行しています。そのため、市の役割としては、将来を見据えて、自らのライフデザインを具体的に描き、実現することができるように、就学・就職・結婚・妊娠・出産・子育てというライフイベントに関連する知識やロールモデルの提供、及び同世代との意見交換や価値観の共有などを通じて、自身の人生を長期的視点でとらえ、結婚等のライフイベントにおいて自律的選択を行える支援に取り組んでまいります。</td><td>あんしん子育て推進課</td></tr>
<tr><td>2</td><td>訪問事業の実施件数は右肩上がりだが、利用者の満足度はいかがか。</td><td>こどもの健全育成及び子育て支援においては、子育て家庭のニーズに応じて、様々な方法で支援を行っており、継続支援を希望されることも多く、育児の不安や負担感に対するサポートができていると考えています。<br>一方で、様々な課題を抱えた家庭の、「こどもの安全」や「安定した養育」をサポートする役割もあるため、専門職の判断で家庭訪問等を実施します。その場合は、利用者の満足度ではなく、介入の必要性を重視し、支援を行います。</td><td>あんしん子育て推進課</td></tr>
<tr><td>3</td><td>里帰り出産ができない状況である。Uターン者を増やしていくうえで考えなければならない問題ではないか。</td><td>本市においては里帰り出産ができないという情報は把握しておりません。<br>住所地またはご本人からの依頼で、専門職の赤ちゃん家庭訪問等のサポートも実施しています。また、長期里帰りの方で、住所地で定期予防接種の補助を受けられない場合、本市で予防接種費用を助成する等、里帰り出産へのサポートを実施しています。</td><td>あんしん子育て推進課</td></tr>
<tr><td>4</td><td>目標達成のためには、訪問件数や実施件数の実態把握に加え、何が不足しているのか、何が求められているのか、十分な支援には、それらをどれだけやらなければならないのかを明確にし、その上で取組施策を検討されたい。</td><td rowspan="2">こどもや子育て家庭への直接的な支援を実施するなかで、様々な状況にある家庭のニーズを聞き取り、そのニーズ分析を行うことで、地域課題が明らかになります。本市では、その地域課題等から、こどもの施策や事業化に取り組むようにしており、その例として、多胎児家庭日帰りショートステイ事業や父親の育児支援、外国人住民に対する育児支援、養育に課題を抱える家庭の複合的な支援事業等、多くの特色のある事業に取り組んでいます。なかでも、多胎児家庭日帰りショートステイ事業は、全国的にもめずらしく、県外からの視察も多い状況です。<br>今後も、個々の親子に寄り添う伴奏型支援を通じて地域課題を分析し、実態に応じた取組を推進してまいります。</td><td>あんしん子育て推進課</td></tr>
<tr><td>5</td><td>現在の人口の年齢構成上、出産数の増加は容易ではない状況であり、人口減少の緩和というマクロな視点も重要ではあるが、そのためにも個々の親子に寄り添うミクロな視点での施策も重要と考える。</td><td>あんしん子育て推進課</td></tr>
<tr><td>意見</td><td colspan="3">結婚・妊娠・出産・子育てに関する支援は促進されていると見受けられるが、成果に結びつけるにはまずは結婚する方（若者等）を増やす必要があると考えられる。また、現在の人口の年齢構成上、出産数の増加は容易ではない状況であり、人口減少の緩和というマクロな視点も重要ではあるが、そのためにも個々の親子に寄り添うミクロな視点へも踏み込んだ施策も重要と考える。</td></tr>
</table>

**推進施策（2）豊かな心を育む幼児教育・保育サービスの提供**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIの達成状況は順調であり、今後も引き続き、当該施策を推進していただきたい。 | － | こども保育課 |
| 2 | 近年の人手不足、多様な働き方、高齢者の再雇用などの必要性の有無を検討するため、サービスを提供する側（保育士・児童クラブ職員）の人員構成及び過不足などはいかがか。 | 正職員に加え、会計年度職員の雇用により受入体制を確保するとともに、ICTによる保育支援システムや保育支援員等の活用により、より一層の保育士の負担軽減及び保育環境の充実を進めてまいります。 | こども保育課 |
| 3 | 働く親にとって、子供の病気やケガの時の受け入れ先が問題となる。親が安心して働けるよう病児保育の充実を図る必要があるのではないか。 | 子育て家庭の仕事と子育ての両立支援等に向けて、利用者需要の動向を踏まえながら安心して病児保育が利用できるよう検討してまいります。 | こども保育課 |
| 4 | 2つのKPIに目的とのずれが生じている。直接関連する取り組みによるKPIを検討されたい。 | 国の保育政策の方向性を踏まえ、保育の量の拡大にとどまらず、質の高い保育・教育の確保・充実に向けた取組みについて検討してまいります。 | こども保育課 |
| 5 | 今後は、公共サービスの担い手確保がこれまで以上に重要になると考えられる。幼児教育・保育サービスにおいても、担い手の量・質の確保を政策目標とすべきと考える。 | 今後の保育政策の方向性や保育等の需要に対する必要な取組みを踏まえ、適切な目標を見極めながら子育て環境の充実を図ってまいります。 | こども保育課 |
| 意見 | KPIの達成状況は順調であり、引き続き継続していただきたい。しかしながら、今後のKPIについては施策目的とより直接的に関連するものを検討されたい。<br>公共サービスの担い手確保がこれまで以上に重要になると考えられるため、幼児教育・保育サービスにおいても、担い手の量・質の確保を政策目標とすることも検討されたい。 | | |

**推進施策（3）生き抜く力を育む教育の充実**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIの達成状況は順調であるほか、特徴的な各施策も素晴らしい。今後も引き続き、当該施策を推進していただきたい。 | － | 学校教育課<br>教育政策課 |
| 2 | 推進施策とKPI設定に関連性をあまり感じない。推進施策に対する新たなKPI設定をする考えはありますか？<br>記載のある学校給食管理システムなどの教職員の負担軽減に繋がるKPI設定や、周南公立大学と協働した質の高い学びの数値化など。<br>推進施策（2）と同様に、直接関連する取り組みによるKPIを検討されたい。 | KPIについては、教育環境の整備に関わる指標を設定しましたが、第3期まちづくり総合計画では、基本施策「教育の充実」の中で、学校教育の充実についてソフト面の進捗を図るうえで、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合」「学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合」を新たな成果指標としました。 | 学校教育課<br>教育政策課 |
| 3 | ハードについては充実しているが、ソフトについて指導する先生の格差が大きいのではないか。 | 引き続き、研修や実践共有を推進し、全ての教職員の経験やスキルを高め合うことを通じて、日々の授業の質の向上を図ってまいります。 | 学校教育課 |
| 4 | 今回のKPIはハード面に関するものが中心で、達成されている。本総合戦略はコロナ感染拡大の状況下で作成され、対象期間の過半もコロナ禍にあったことは留意すべきと考える。今後はポストコロナ、より進行する少子化の中での学校教育の在り方を盛り込んでいく必要があると考える。 | 第3期まちづくり総合計画では、教育環境のハード整備に関する指標に加え、基本施策「教育の充実」の中で、学校教育の充実のソフト面での進捗を図るうえで、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合」「学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合」を新たな成果指標としました。 | 学校教育課<br>教育政策課 |
| 意見 | 特徴的な各施策については、今後も引き続き推進していただきたい。<br>KPIは順調に達成しているが、ハード面に関するものが中心となっているため、今後は施策目的に直接関連するようなソフト面のKPIも検討されたい。<br>また、より進行する少子化の中での学校教育の在り方を盛り込んでいく必要があると考える。 | | |

**基本目標3。若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり**
**推進施策(1)関係人口の創出・拡大**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIは達成されていないが、当該施策は短期的に成果がでるものではないと認識している。それぞれの取組みを積極的に展開していることは評価できることから、地域事情や市民の声などを反映させながら、着実に施策を推進されたい。 | － | 移住交流推進課<br>地域づくり推進課 |
| 2 | 市公式SNS合計フォロワー数が目標に達していない。市内の高校に協力を仰ぎ、3年生時(卒業間近)に周南市公式LINEのお友達登録等を推奨する取組を検討されたい。 | 市内高校や公立大学の卒業生に対するLINEの友達登録キャンペーンは、令和3年度から継続的に実施しています。その他、二十歳の記念式典やレノファ山口のホームタウンデーにおいても、LINEを中心にSNSのフォロワー数増加に取り組んでおりますが、SNS全体としては目標に達していない状況です。引き続き、多くの方に選ばれるよう魅力的な情報を届けるとともに、SNSのトレンド等を見極めながら効果的な発信を図ってまいります。 | 移住交流推進課 |
| 3 | 「関係人口100万人ネットワーク」を引き続き推進するのであれば、単なるイメージ戦略ではなく、具体的な場所や手法、目標人数、複数本の柱による内訳など、具体的なロードマップを示した取組を検討されたい。 | 本市が関係人口の一つとして位置付けている市公式SNSのフォロワーやふるさと納税の寄附者については市内外のイベントや移住フェア等でPRすることで増加を図っているところです。関係人口100万人とは、「周南市のことが100万人に伝わること」を目標とした意気込みを表した言葉であることから、関係人口を効果的に増やしていく手法について今後も研究しながら各事業に取り組んでまいります。 | 移住交流推進課 |
| 4 | SNSについては、拡散のためにはある種のマーケティングのテクニックが必要となってきており、行政のような堅実な機関が発信する情報を広く波及させることが難しくなってきているように思われる。また運用上のコスト、リスクも大きくなってきている。SNSによる発信は必要ではあるが、関係人口創出への貢献度など、費用対効果の評価を検討されたい。 | SNSでの発信によりどれだけ移住の促進や関係人口の創出に繋げられたかを評価するところまでは至っておりませんが、これらの創出に繋がる効果的な情報発信となるよう、発信内容も含め全庁的に取り組んでまいります。 | 移住交流推進課 |
| 5 | 大津島地区以外で地域づくり活動に取り組まれている地区はあるか。 | 関係人口を活かした取り組みとして具体的に把握しているのが、大津島地区というところでございます。 | 地域づくり推進課 |
| 6 | 地域づくり担い手団体については、人と人の出会いのタイミングも重要なため容易ではないが、引き続き機運の醸成に努められたい。 | － | 地域づくり推進課 |
| 意見 | KPIは達成されていないが、それぞれの取組みを積極的に展開していることは評価できる。今後は、地域事情や市民の声などを反映させながら、着実に施策を推進されたい。<br>SNSについては、目標達成のため、市内の高校に協力を仰ぐなど更なる工夫をされたい。一方、マーケティングのテクニックや運用上のコスト、リスクなど、行政機関が使いこなす行政機関が使いこなすうえでのハードルが上がってきているため、SNSによる発信は必要であるが、その費用対効果・手法の評価も検討されたい。 | | |

**推進施策（2）起業・創業支援の推進**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | 創業に関するKPIは順調であり、今後も引き続き、当該施策を推進していただきたい。認定新規就農者数に関するKPIは達成されていないものの、外部環境（資材等の高騰、人材確保の激化等）の影響が大きいものと推測する。パッケージ支援など、引き続き関連施策を推進されたい。 | － | 商工振興課<br>農業振興課 |
| 2 | 創業件数は目標より多く右肩上がりだが、継続率など創業から定着に関する持続可能性などについてはどう考えているか。事業を継続しているかどうかの把握はしているか。また、創業後の支援はしているか。 | 創業者の事業継続は大変重要と考えます。市創業支援等協議会において各支援事業者が、新規創業者の定着につながるよう伴走的に支援を行っており、その中で事業継続の状況把握に努めています。 | 商工振興課 |
| 3 | 創業支援は実績があるものの、創業後の継続期間や事業拡大・成長性に課題がある。若者を惹きつける魅力あるまちとするため、創業者の持続・成長につながる施策に注力した取組を検討されたい。 | 引き続き関係機関と連携した支援や市制度による支援のほか、いただいたご意見を参考に、創業者の持続・成長につながる施策等を研究してまいります。 | 商工振興課 |
| 4 | 農業については、農業の持続のために最も重要な要素が何か、KPIの見直しが必要と思われる。 | 次期戦略では、市全体の農業の担い手確保の実態が反映できるよう、自営就農者だけでなく農業法人等への雇用就業者を含めた、新規就農・就業者数をKPIに設定しています。 | 農業振興課 |
| 意見 | 創業に関するKPIは順調であり、今後も引き続き、当該施策を推進していただきたい。認定新規就農者数に関するKPIは達成されていないものの、外部環境（資材等の高騰、人材確保の激化等）の影響が大きいものと推測する。パッケージ支援など、引き続き関連施策を推進するとともに、若者を惹きつける魅力あるまちとするため、創業者の持続・成長につながる施策に注力した取組を検討されたい。<br>なお、農業については、農業の持続のために最も重要な要素が何か、KPIの見直しが必要と思われる。 | | |

**推進施策（3）UJIターンの促進**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIの達成には至っていないが、概ね評価できる。周南市の中山間地域には魅力がたくさんある。移住者の増加・定着については、中長期的視点を持って、地道に施策を推進されたい。 | － | 地域づくり推進課 |
| 2 | 移住した世帯数が84件とあるが、現在も引き続き居住されているか。移住前に思っていたイメージとギャップ、あったらよかった支援について、どのような意見があったか。また、それについてどのようなフォローアップをされたか。 | 移住に関する補助金を活用した方に対して、補助金交付要綱に定められた返還要件に該当する期間について年1回、書面や対面による定住状況の調査を行っています。<br>令和7年度より上記調査時に、移住してみて感じた周南くらしの良さや、移住前に思っていたイメージとのギャップ、移住前にこういう支援や情報があったら良かった等の項目をアンケートとして伺っているところであり、今後、アンケートの分析等を行ってまいります。 | 移住交流推進課 |
| 3 | 進学や就職で地元を離れる高校3年生への卒業間近でのアプローチが必要と考える。 | 本市とのつながりが継続できるよう、高校3年生への周南市公式LINEの登録を呼び掛ける取組などを引き続き進めてまいります。 | 移住交流推進課 |
| 4 | 移住者がUJIターンを本気で考えるような魅力的かつ独自性のある支援策、受け皿となる企業の育成、農林設備の提供など、具体的な取組を検討されたい。 | 令和7年3月に策定した第3次周南市まちづくり総合計画では、将来世代からも評価される持続可能な誇りあるまちづくりを進めていくことを掲げており、未来につながる各種施策について、そのニーズとともに、移住希望者の誘因に有効な手段となるのか、移住者のみ優遇することへの合理性があるのか等を勘案しながら、検討を行ってまいります。 | 移住交流推進課 |
| 5 | KPIについて、概ね達成されていると評価できるが、UJIターン先を中山間地域に限定する必要はないと考える。 | 第3次周南市まちづくり総合計画の策定とあわせて、令和7年度からは全市を対象に移住を促進する取組を進めております。 | 移住交流推進課 |
| 意見 | 周南市の中山間地域には魅力がたくさんあるにもかかわらず、KPIの達成には至っていない。移住者の増加・定着については、中長期的視点を持ち、かつスピーディーに施策を推進されたい。なお、UJIターン先を中山間地域に限定する必要はないと考える。<br>また、進学や就職で地元を離れる高校3年生への卒業間近でのアプローチや、移住希望者が本市へのUJIターンを本気で考えるような、魅力的かつ独自性のある支援策や受け皿の整備などの取組も検討されたい。 | | |

**推進施策（4）高等教育機関等との連携**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIは達成されていないが、積極的な各取組の推進によって、成果（若者の市内就職率の向上）が出る土壌は整備されつつある。市内事業所でのインターンシップは効果的であり、引き続き、各施策を推進することで、若者の地元定着の向上を目指されたい。 | － | 公立大学連携課 |
| 2 | 「地元に残りたい！」と思っている子達の多くは、若年からその傾向が特に強い傾向にあると思われる。そのため、高等教育より前（小中学校）に地元企業の魅力を伝えることが非常に重要だと考えるが、その点についてどう考えているか。 | 若年層に向けた地元企業の魅力発信は、地元での定住や就職、多様な働き方への理解・意識啓発のために大変重要と考えます。<br>徳山下松港が開港100周年を迎えた令和4年度より、徳山下松港の重要性や地元企業の仕事等に興味をもってもらうためのパンフレットを毎年市内の小学5年生全員に配布しています。<br>また、市内学生へ創業機運醸成に関する授業を行い、地元での創業者の経験や創業の魅力を学ぶ機会の提供を行っています。<br>引き続き、様々な機会を通じ地元企業の魅力の発信に努めます。 | 商工振興課 |
| 3 | 令和9年度の学生数が約2,000人とあるが、その学生数に対する市内企業への就職者数の目標値はあるか。 | 第3次まちづくり総合計画の成果指標において、令和11年度末までに、周南公立大学卒業生の市内就職者数を、令和7年度からの5年間で300名としております。 | 公立大学連携課 |
| 4 | 市内の高等教育機関と地元企業が、従来とは異なる発想や手法で連携・協力し、新たな商品開発・製造・販売手法など、実際に成果につなげるための取組を抜本的に強化・拡大されたい。 | 令和7年度の周南公立大学の授業のひとつ「ソーシャルアントレプレナーシップ」において、学生がビジネスモデルを考え、民間業者等に対しプレゼンテーションを行い、ビジネスとして実現可能かなどを検討する取組が行われたところです。<br>いただいたご意見は、周南公立大学にもお伝えし、市でも大学と連携できる点については支援をしていきたいと考えております。 | 公立大学連携課 |
| 5 | たとえ大学所在地に就職しなかったとしても、在学期間中に地域に関わることはできるはずである。その意味で、地域にとって大学生は関係人口の最たるものであるといえる。それらの大学生は大学がなければ地域に関わることがなかった人々であり、活用、意欲の引き出しが重要であると考える。大学も組織として生き残りが必要であり、そのためには広く他地域からも学生を集める必要があると考える。 | 周南公立大学において、進学相談会を県内・県外・オンラインで実施しており、令和7年度は県内では、岩国市、光市、山口市、防府市で実施し、県外は広島県、岡山県、福岡県、大分県、長崎県、鹿児島県で実施しているところです。<br>また、オンライン相談は個別相談を、進路相談会実施期間中の平日に予約制で実施しており、全国各地からの進学希望に対し柔軟に対応しています。<br>いただいたご意見は、周南公立大学にもお伝えしたいと考えております。 | 公立大学連携課 |
| 意見 | KPIは達成されていないが、積極的な各取組の推進によって、成果（若者の市内就職率の向上）が出る土壌は整備されつつある。市内事業所でのインターンシップは効果的であり、引き続き、各施策を推進することで、若者の地元定着の向上を目指されたい。<br>また、高等教育機関と地元企業が、従来とは異なる発想や手法で連携・協力し、新たな商品開発・製造・販売手法など、実際に成果につなげるための取組を抜本的に強化・拡大されたい。 | | |

**基本目標4。強みを活かし、賑わいあふれるまちづくり**
**推進施策（1）中心市街地における賑わいの創出**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIは達成されておらず、「まちなかの歩行者等通行量」は減少傾向にある。これは、人口減少、郊外のロードサイド店舗の充実等も大きな要因であると考えられ、そのような中で「中心市街地の活性化」施策については、相応に成果を生み出しているように思う。引き続き、施策を推進されたい。 | － | 中心市街地活性化推進課 |
| 2 | 「まちなかの歩行者等通行量」が年々減少している。コロナ禍と比較しても少なくなっている。市の取組内容が市場のニーズと乖離しているのではないか。要因の分析が必要と思われる。 | 歩行者等通行量が減少している要因分析等を行い、市場のニーズとの乖離が生じないよう、中心市街地活性化施策に反映してまいります。 | 中心市街地活性化推進課 |
| 3 | 「まちなかの歩行者等通行量」を見ると、中心市街地の活性化施策が効果を発揮していないようにも見える。一方で、直近の地価公示では徳山駅周辺の商業地は県内1位の上昇率となるなど、各指標が矛盾した動きとなっているように見える。<br>これまで、中心市街地活性化の中で歩行者数データが重視されてきたが、コロナ禍や夏季の高温化を経て人々の行動が変わり、指標としての有効性が低下してきている可能性がある。地価が上昇している以上、活性化に対する期待があることは事実と思われるので、それを実際の経済活動活性化につなげる必要があると考える。 | デジタル技術の進展等により、より多くの、より詳細なデータを収集・分析できるようになっております。指標の見直しも行いながら、来街者の動線、経済活動等を適切に把握し、中心市街地活性化施策に反映してまいります。 | 中心市街地活性化推進課 |
| 4 | KPIとして、「中心市街地で行われるマルシェなどのイベント数」も加えてはどうか。こういった数値の地道なデータ化は、中心市街地に関係する指定管理者が変わった時のことも考えて重要だと考える。 | いただいた御意見も踏まえて、適切なKPIを検討してまいります。 | 中心市街地活性化推進課 |
| 5 | 徳山駅前地区第一種市街地再開発事業が完了し賑わいが戻りつつある今こそ、老朽化し残存期間の限られる銀座、銀南街、中央街の具体的なリボーンに向けた取組を検討すべきである。市民を巻き込み、実態を正しく理解した上で知恵を絞り、現在の中心市街地を有効活用した活性化を図る工夫が必要と考える。また、そのロードマップの作成と共有も必要と考える。 | 徳山駅周辺整備や徳山駅前地区第一種市街地再開発事業の効果を中心商店街、さらに中心市街地全体に波及させることが最重要課題と認識しております。関係者、住民と正確に実態を共有したうえで、緊密に連携しながら、計画的に中心市街地活性化施策を実施してまいります。 | 中心市街地活性化推進課 |
| 意見 | 主要なKPIである「まちなかの歩行者等通行量」が減少傾向にあることは、大きな問題である。これは、人口減少や郊外のロードサイド店舗の充実のほか、コロナ禍や夏季の高温化を経て人々の行動が変わったことも大きな要因であると考えられる。直近の地価公示では徳山駅周辺の商業地で県内1位の上昇率となったエリアがあることも鑑み、市の取組内容が市場のニーズと乖離していないか要因を分析するとともに、KPIの有効性についても検討されたい。<br>再開発事業が完了し賑わいが戻りつつある今こそ、市民や関係団体等も巻き込んだ中心市街地活性化のための抜本的な取組やそのロードマップの作成なども検討されたい。 | | |

**推進施策（2）観光交流の推進**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIは達成していないものの、観光客数は着実に増加（回復）しており、一定の評価はできるように思う、「見る観光」、「五感で感じる体験型観光」のほか、大衆向けだけではなく、マニア層が共感する観光も検討されたい。 | 本市が有する地域資源を活用することで、特定の趣味や関心を持つ観光客に対してどのような情報や体験を提供できるか、観光関係団体や事業者との意見交換等を行いながら検討してまいります。 | 観光振興課 |
| 2 | 「観光客数」は目標に達しておらず、新たなコンテンツの創出を検討すべきと考える。鳥取県では、水木しげる氏や青山剛昌氏の作品による観光地化を行っているが、貞本義行氏等の周南市出身の著名人とのコラボレーションは考えられないか。 | 原作者の出身地で作品キャラクター等を活用した観光振興が図られ、また、作品の舞台になった場所を訪れる聖地巡礼が人気を集めている中で、行政としてどのような関わり方ができるか検討してまいります。 | 観光振興課 |
| 3 | KPIの実績が示す通り、従来通りの施策だけでは観光交流の拡大は難しい。今後は、体験型観光に注力した魅力発信に注力すべきと考える。 | 観光関係団体や事業者等と連携しながら、アウトドアコンテンツ等の体験型観光の魅力を直感的に伝えられるよう、SNSや動画等を活用して情報発信の強化を図ってまいります。 | 観光振興課 |
| 4 | より一層の観光の拡大のためには県内各市と連携し、回遊できる観光コースをつくっていく必要があると考える。 | 引き続き、商工会議所が主催する産業観光ツアーへの支援や、協定を結ぶ防府市、下松市・光市と連携して広域周遊ルートの提案を行います。令和8年度の山口デスティネーションキャンペーンに向けては、県及び県内市町と連携して、誘客及び回遊に向けたコンテンツ造成を図ってまいります。 | 観光振興課 |
| 5 | 「徳山動物園入園者数」が減ったのは、単純に暑かったからだけなのか。他の要因は分析されていないか。 | 令和6年及び令和4年実施した入園者アンケート（年間来園数）から比較分析すると、年1～2回の来園（R4：32%、R6：13%）年7回以上（R4：26%、R6：41%）となっており、来園者数が減少しているなかで、特に年1～2回の来園者が減少、逆に7回以上の来園者数が増えてきている状況となっています。<br>要因として、7月から9月の猛暑の影響や、コロナ禍以降余暇の選択肢が変化し、動物園を特にご愛顧いただいている来園者に絞られている状況と新規来園者に当園魅力の周知不足と判断しているところです。 | 動物園 |
| 6 | 「ニューツーリズムの推進」の取組にある「新たなビジョンに掲げた基本施策」とはどのようなものか。 | 第4期周南市観光ビジョンにおいて、「日常をときほぐす観光の推進」、「夜型観光の推進」、「おもてなしの環境整備」、「効果的な魅力発信」、「観光誘客につながる連携強化」、「多文化共生による地域づくり」を基本施策として掲げています。 | 観光振興課 |
| 意見 | KPIの実績が示す通り、従来通りの施策だけでは観光交流の拡大は難しい。新たなコンテンツの創出を検討するとともに、県内各市と連携し、回遊できる観光コースをつくっていく必要があると考える。 | | |

**推進施策（3）スポーツ交流の推進**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIは達成されておらず、実績値との乖離も大きいが、コロナ禍の影響（コロナ禍を機に様々なことが変化し、「周南緑地内体育施設利用数」がコロナ前に戻らないこと）が大きく関係しているように思う。施設改修を進めながら、中長期的な視点を持って、利用者数の回復に努めていただきたい。 | － | スポーツ振興課 |
| 2 | KPI目標は大きく下回るが、目標設定自体が意欲的かつ高い目標であり、利用者実数としては相応の規模がある。さらに伸ばしていくためには、引き続きこの分野に注力し、財源と人材を投入することは有効と考える。 | － | スポーツ振興課 |
| 3 | 施設改修による使用休止など、やむを得ない要因によるKPI未達成に対する影響の大きさを示すことが望ましい。利用者数の低迷が、一過性の要因によるものか、需要自体の低迷によるものかが分かりづらい。 | 施設改修前後（R5年度と6年度を比較）の周南緑地内体育施設の利用者数は、全体で-39,608人の減少となっています。このうち、実際に改修工事を行った施設の利用者数は-33,084人（陸上競技場-24,289人、庭球場-3,096人、サッカー場-5,699人）であることから、工事期間中の利用制限が影響したことに加えて、コロナ禍後も利用者数が戻らないことが原因だと考えています。 | スポーツ振興課 |
| 4 | 令和4年をピークに「周南緑地内体育施設利用者数」が年々落ちている原因についてどのように考えているか。今後の対策を考えているか。 | 施設改修による使用休止は別として、利用者減少の原因は、少子高齢化やライフスタイルの変化、コロナ禍によって運動習慣が途切れたことなどが挙げられます。今後は、施設のリニューアルによるコンベンション機能の向上に加え、指定管理者と連携し、年代に応じた運動教室や魅力的なイベントの開催を通じて、誰もが気軽に利用できる環境づくりを進めてまいります。 | スポーツ振興課 |
| 5 | 従来の身体的スポーツ交流に加え、年齢、身体能力問わず多様な人々が参加できるeスポーツ導入の考えはないか。 | eスポーツの導入は、地域振興や若者支援、教育、観光振興といった多様な目的のもと、全国の自治体で広がりを見せており、本市でもスポーツフェスタにおいて体験ブースを設けたり、民間団体の活動を支援したりしながら多様な人々が楽しめる新たなスポーツ機会としてeスポーツを推進してまいります。 | スポーツ振興課 |
| 意見 | KPIは達成されておらず、実績値との乖離も大きいが、コロナ禍の影響（コロナ禍を機に様々なことが変化し、「周南緑地内体育施設利用数」がコロナ前に戻らないこと）が大きく関係しているように思う。施設改修を進めながら、中長期的な視点を持って、利用者数の回復に努めていただきたい。<br>なお、利用者数の低迷が、一過性の要因によるものか、需要自体の低迷によるものかが分かりづらいため、「施設改修による使用休止」など、やむを得ない要因によるKPIへの影響の大きさを示すことが望ましいと考える。 | | |

**基本目標5。時代に対応した、持続可能なまちづくり**
**推進施策(1)Society5。0の実現に向けたまちづくり**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIの達成状況は順調であり、今後も引き続き、スマートシティ推進に関する取組を進められたい。 | – | スマートシティ推進課 |
| 2 | KPIは達成されている。これら施策は市職員の業務改善の側面も大きく、雑用的な業務を効率化してより創造的な業務に取り組める体制となっていくことを期待する。 | – | スマートシティ推進課 |
| 3 | スマートシティの関連施策について、市民の理解や満足度はどうなっているか。 | スマートシティの推進においては、市民の理解の深化や意識の醸成を図るため、シンポジウムや、デジタル・デバイド対策の一環として行った移動型スマホ教室の開催、RPAの活用など各分野で取り組んでいます。シンポジウムや移動型スマホ教室の参加者アンケートでは、参加者の多くが「理解が深まった」や「満足」の回答であったことから、一定の理解や満足を得たと考えております。 | スマートシティ推進課 |
| 4 | 「RPAにて自動化する事務の件数」は目標に達しているが、残業の軽減や課内の人員削減等、現場でその効率化が実感できているのか。<br>また、「「ぴったりサービス」の提供サービス手続き数」も目標に達しているが、市民の「ぴったりサービス」の利用状況はどうなっているのか。 | 現在は、RPAにて自動化する事務の件数を増やしている段階であり、今後、さらに事務の自動化が進むことにより、現場における効率化の効果が実感できると考えております。<br>ぴったりサービスについては、申請が毎年継続して7割を超える申請もある一方で、市民に利用可能な申請が浸透しておらず、利用実績のない申請も多数ある状況となっています。今後はぴったりサービスの申請できる項目や利便性について市民に広く周知するとともに、利用の定着及び利用数の増加により、市民にも職員にもより効果の高いものとしたいと考えております。 | スマートシティ推進課 |
| 5 | Society5.0はまだスタートから間もなく、極端に進んでいる地域は少ないと思われるが、徐々に地域間格差が見えつつある。これに乗り遅れると取り返しのつかないハンディを背負った地域になりかねない。今こそ、独自色を出した尖った戦略で特化した取組を検討されたい。 | Society5.0の実現に向けては、社会のあらゆる分野で多様な主体が積極的に先端技術等を活用し、地域課題の解決や新たな価値を創造することなどを図り、これまで以上に利便性の高い、また快適な暮らしの実現に向けて取り組みます。実現に向けて、本質的な課題、社会情勢の変化や市民ニーズを把握しながら、アジャイル型の実施手法により、取組を改善しながら推進してまいります。 | スマートシティ推進課 |
| 意見 | KPIの達成状況は順調であり、今後も引き続き、スマートシティ推進に関する取組を進められたい。これら施策は市職員の業務改善の側面も大きく、雑用的な業務を効率化してより創造的な業務に取り組める体制となっていくことを期待する。<br>Society5.0はまだスタートから間もなく、極端に進んでいる地域は少ないと思われるが、徐々に地域間格差が見えつつある。これに乗り遅れると取り返しのつかないハンディを背負った地域になりかねない。「周南市スマートシティ構想」を軸に着実かつスピーディに施策を進めるとともに、市の独自色を出した尖った取組も検討されたい。 | | |

**推進施策（2）コンパクト・プラス・ネットワークの推進**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPIはわずかながら達成されておらず、引き続き、「コンパクトシティの推進」、「公共交通ネットワークの形成」に関する取組を進められたい。 | － | 都市政策課 |
| 2 | コンパクト・プラス・ネットワークは理想的ではあるが、現実を直視した施策を検討せざるを得ない。限られた資源を将来に向けて有効活用するためには、万人受けはしなくとも、熟慮の上で選定した「選択と集中」による重点的な取組を検討されたい。 | コンパクト・プラス・ネットワークの考え方について、庁内でより一層の周知を図ることで、この考えに基づく有効な施策の検討や取組の実施に繋げていきたいと考えております。 | 都市政策課 |
| 3 | 立地適正化計画における都市機能誘導区域、居住誘導区域への居住を促す、補助金などの誘導施策も検討されたい。 | 居住促進区域への居住誘導施策については、効果的なインセンティブについて、引き続き検討してまいります。 | 都市政策課 |
| 4 | 行政代執行は何件実施したのか。また、空家等管理活用支援法人の相談窓口は何件程度の利用があったのか。 | 行政代執行は1件、総合相談窓口 （R7.2開設）の利用は11件ございました。 | 住宅課 |
| 意見 | KPIはわずかながら達成されていない。引き続き、「コンパクトシティの推進」、「公共交通ネットワークの形成」に関する取組を進められたい。また、立地適正化計画における都市機能誘導区域、居住誘導区域への居住を促す、補助金などの誘導施策も検討されたい。<br>コンパクト・プラス・ネットワークは理想的ではあるが、限られた資源を将来に向けて有効活用するために、「選択と集中」による重点的な取組も検討されたい。 | | |

推進施策（3）中山間地域の持続可能な生活圏づくり

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | 徳山北部拠点施設の令和8年度の供用開始に向け、引き続き進められたい。 | － | 地域づくり推進課 |
| 2 | 成果が直ちに出づらい政策領域ではあるが、短期的視点に偏らず、息長く取組まれたい。 | － | 地域づくり推進課 |
| 3 | KPIはわずかながら達成されていないものの、一定の評価はできる。地域経営会社について、事業内容や体制が決まらず、設立に至っていないとのことだが、機運は醸成されていることも踏まえて、早期に設立できるように、取組まれたい。 | 地域において、将来を見据えた持続的に取り組む体制である地域経営会社の仕組みが必要、という機運醸成は図られていますが、具体的な事業内容や体制が決まっていない状況です。今後も、伴走支援者による地域への支援を継続するなど、取り組みを行ってまいります。 | 地域づくり推進課 |
| 4 | 中山間地域の役割と目標を明確にして、それに即したぶれない施策を検討されたい。 | 人口減少といった課題や、豊かな自然などの価値を持つ中山間地域の特性に応じた施策を、今後も継続して行ってまいります。 | 地域づくり推進課 |
| 5 | 菊川地区コミュニティバス、鹿野地域等乗合タクシーの運行内容の見直しとあるがどのような不都合がありどのような変更をされたのか。 | 菊川地区コミュニティバスは、令和6年度の実証運行時の利用状況や利用者ニーズ等を踏まえ、路線、停留所、便数等を適宜見直ししたうえで、令和7年度から本格運行を開始いたしました。<br>鹿野地域等乗合タクシーは、令和6年度までは対象区域を8つのエリアに分け、それぞれ運行日を分けていたものを、令和7年度から対象区域全域を1つのエリアとし、いつでも予約可能とするなどの見直しを行い、利便性の向上を図りました。 | 公共交通対策課 |
| 意見 | 徳山北部拠点施設の令和8年度の供用開始に向け、引き続き進められたい。<br>地域経営会社については、事業内容や体制が決まらず設立に至っていないとのことだが、機運は醸成されていることも踏まえて、早期に設立できるように取組まれたい。<br>成果が直ちに出づらい政策領域ではあるが、短期的視点に偏らず、中山間地域の役割と目標を明確にして、それに即したぶれない施策を検討し、可能なことから順次スピーディに実行されたい。 | | |

**推進施策（4）多様な主体による地域づくりの推進**

| No. | 戦略会議の意見 | 意見に対する市の考え等 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | KPI目標のうち「市民活動支援センターの支援を受けたコミュニティビジネス等の創出件数」について、達成されていないことは残念であるが、創出支援に加えて、ビジネスの継続支援も重要であることから、その両面に関する取組みを進められたい。 | コミュニティビジネスは、創出までのハードルが高く、また、創出後の事業継続も難しい面がありますが、地域経済の活性化、地域産業のさらなる発展、地域コミュニティの再生、住人にとっての生きがい創出など様々なメリットがあることから、今後も創出支援、継続支援に関する取組を継続的に進めてまいります。 | 地域づくり推進課 |
| 2 | 短期的に評価すべき施策ではないと考えるが、コミュニティビジネスについては停滞しているように思われので、その原因を分析する必要がある。 | 停滞している原因については、コミュニティビジネスをビジネスとして成り立たせるための専門知識を有する人材の不足、慢性的な資金不足（補助金・助成金などの金銭的援助がなければ成り立たない）といったケースが見受けられます。コミュニティビジネスは、地域の課題解決が主たる目的であり、事業内容によっては、収益につながりにくいといったことが停滞する要因と考えられます。<br>コミュニティビジネスを持続可能型な取り組みにしていくためには、経済的な自立は必要不可欠でありますことから、自立へ向けた効果的な支援策を検討してまいります。 | 地域づくり推進課 |
| 3 | 夢プランを作ることが目的ではなく、そのプランで地域がどうなったのかが重要である。夢プランの実現度や当事者達の幸福度に変化はみられたかを具体的に知りたい。 | ご指摘の通り、夢プランは地域が目指す将来像を実現するための手段であり、作ることが目的ではありません。実現度合いについては、夢プランに取り組む地域によって違いはありますが概ね6～7割程度の達成状況にあります。<br>また、幸福度については数値的な分析はできていませんが、夢プランの取り組みにより「新たな担い手の発掘・育成につながった。」「地域内に新たなつながりが生まれた。」「関係人口が増加した。」といった声をいただいています。 | 地域づくり推進課 |
| 4 | 「地域の夢プラン」について、どのようなことを支援したのか。 | 資金的な支援（策定支援として初年度10万円、2年度目20万円、継続支援として30万円×3年度間）、人的な支援（会議等への担当職員の派遣、専門家派遣）の両面から支援を行っています。また、夢プランに取り組む地域同士の交流会を開催し情報共有、地域連携の構築を図っています。 | 地域づくり推進課 |
| 意見 | KPI目標のうち「市民活動支援センターの支援を受けたコミュニティビジネス等の創出件数」について、達成されていないことは残念であるが、創出支援に加えて、ビジネスの継続支援も重要であることから、その両面に関する取組みを進められたい。<br>短期的な視点だけで評価すべき施策ではないと考えるが、スピードは重要であり、コミュニティビジネスについては停滞しているように思われので、その原因を分析する必要があると考える。 | | |